

# 第2回宇宙開発利用大賞 受賞事例集



内閣府

平成28年 3月22日

# 第2回宇宙開発利用大賞

## 祝辞



この度、第2回宇宙開発利用大賞を受賞されました皆様に、心よりお祝い申し上げます。

近年、米国をはじめとする諸外国において、民間主体による様々な新しい宇宙ビジネスが提案され、宇宙利用の範囲が急速に拡大しつつあります。我が国においても、衛星情報等の宇宙システムを活用した自動車の自動走行、農業機械や建設機械の自動運転等、宇宙利用を通じた新しい技術・産業・サービスの具体化が進んでいます。

宇宙の開発利用分野における民間事業者の新たな取組を後押しし、我が国が取り組むGDP600兆円に向けた生産革命において、宇宙分野を柱の一つとして推進してまいります。

我が国は、これまで、宇宙開発利用に関する技術を着実に蓄積し、人類共通の知的資産を創出し、さらに宇宙分野における国際的な発言力を高めてきました。これからも、この分野の潜在力を最大限活用するとともに、国際社会における我が国のリーダーシップを強化していきます。

今回の受賞事例に代表される我が国の素晴らしい取組が、国内外に幅広く展開され、社会を変える原動力となることを期待しております。宇宙開発利用大賞を受賞されました皆様方の益々のご活躍とご成功を祈念いたしまして、私の祝辞といたします。

平成28年3月22日

内閣総理大臣 安倍晋三

## 祝辞



第2回の宇宙開発利用大賞を受賞されました皆様、誠におめでとうございます。

第2回目の宇宙開発利用大賞を募集するにあたっては、宇宙インフラとビッグデータやIoT等を融合させ、既存産業の高度化・効率化や宇宙に関連した新産業・新サービスを創出する民生分野の取組を推進するため、宇宙を活用して、(1)社会インフラの維持管理の効率化、防災・減災の高度化・効率化などに貢献する事例、

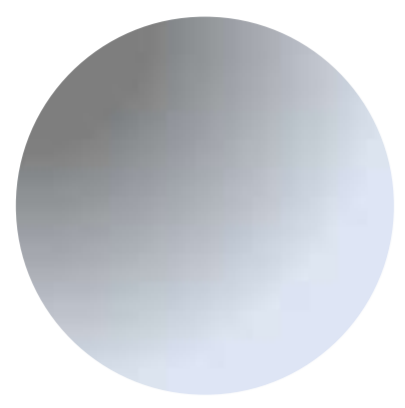
(2)交通・物流、農林水産、個人サービス・観光などの分野において、新事業・新サービスの創出に貢献する事例、(3)公共・産業両分野において、アジア地域等の新興国の社会課題や地域規模課題の解決に貢献する事例を特に推奨することといたしました。

今回、多数ご応募いただいた中から、宇宙開発利用大賞に選ばれたものは、内閣総理大臣賞を受賞された事例をはじめ、すべての事例が宇宙基本計画(平成27年1月9日宇宙開発戦略本部決定)の趣旨にふさわしいものと考えております。このような宇宙開発利用に関する取組が更に強化され、その取組への理解が国内外に深く浸透し、日本経済の力強い成長につながっていくよう、宇宙政策担当大臣として今後もしっかりと取り組んでまいります。

今回受賞された皆様には、これまでの受賞者と共に宇宙開発利用のお手本として、今後ともご尽力いただけるようお願いいたします。

平成28年3月22日

内閣府特命担当大臣(宇宙政策) 島尻安伊子



## 第2回宇宙開発利用大賞 受賞事例集 目次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 宇宙開発利用大賞について.....     | 2  |
| 内閣総理大臣賞.....          | 6  |
| 内閣府特命担当大臣(宇宙政策)賞..... | 7  |
| 総務大臣賞.....            | 8  |
| 外務大臣賞.....            | 9  |
| 文部科学大臣賞.....          | 10 |
| 経済産業大臣賞.....          | 11 |
| 国土交通大臣賞.....          | 12 |
| 環境大臣賞.....            | 13 |
| 宇宙航空研究開発機構理事長賞.....   | 14 |

# 第2回宇宙開発利用大賞について

## 1. 宇宙開発利用大賞とは

宇宙開発利用大賞とは、宇宙開発利用の推進において大きな成果を収める、先導的な取組を行う等、宇宙開発利用の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の宇宙開発利用の更なる進展や宇宙開発利用に対する国民の認識と理解の醸成に寄与する事を目的として、平成25年度に設けられた表彰制度で、関係各府省等の協力を得つつ、内閣府宇宙戦略室が運営を実施している。

なお、第1回宇宙開発利用大賞は、平成25年度に実施した。

## 2. 募集対象

以下の事例（過去1年間の実績に限らない。）について、顕著な功績があったと認められる個人又は団体に対して表彰します。

- ① 宇宙に関連し、商品・サービスを提供し、宇宙の利用拡大に成果を上げた個人又は団体
- ② 宇宙に関連し、今後の宇宙利用の拡大に成果が期待できる独創的な宇宙利用の方法の考案等を行った個人又は団体
- ③ 中小企業、大学等で、宇宙に関連し、優れた技術を保有し、我が国宇宙産業の発展に貢献している個人又は団体
- ④ 宇宙に関連し、優れた研究開発を行い、宇宙の開発利用に貢献している個人又は団体
- ⑤ 宇宙に関連し、教育、広報や地域のまちづくり等において、宇宙の開発利用に貢献している個人又は団体

### 3. 表彰の種類

| 種類                   | 件数 | 内容  |
|----------------------|----|---|
| 内閣総理大臣賞              | 1件 | 極めて顕著な功績があったと認められる事例  |
| 内閣府特命担当大臣<br>(宇宙政策)賞 | 1件 | 特に顕著な功績があったと認められる事例   |
| 総務大臣賞                | 1件 | 情報通信の発展、地域の振興等の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例                      |
| 外務大臣賞                | 1件 | 平和で安全な国際社会の維持、良好な国際環境の整備等の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例           |
| 文部科学大臣賞              | 1件 | 科学技術・学術の振興の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例                          |
| 経済産業大臣賞              | 1件 | 鉱工業の振興の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例                              |
| 国土交通大臣賞              | 1件 | 国土の利用・保全、社会資本の整備、交通・観光政策の推進、気象業務の発達の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例 |
| 環境大臣賞                | 1件 | 地球環境保全、公害の防止、自然環境の保護及びその他の環境の保全の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例     |
| 防衛大臣賞                | 1件 | 防衛分野における宇宙開発利用の推進の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例                   |
| 宇宙航空研究開発機構<br>理事長賞   | 1件 | 宇宙開発利用の技術の観点から顕著な功績があったと認められる事例                             |

\*今回から外務大臣賞が追加されました。

## 4. 審査方法

### (1) 審査方法

関係府省等による予備選考を経た後、有識者で構成される選考委員会による選考を経て、受賞者の選出を行いました。

### (2) 第2回宇宙開発利用大賞選考委員会

|     |        |                                |
|-----|--------|--------------------------------|
| 委員長 | 中須賀 真一 | 東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻教授        |
|     | 石田 真康  | A.T.カーニー株式会社プリンシパル             |
|     | 神武 直彦  | 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科准教授 |
|     | 柴崎 亮介  | 東京大学空間情報科学研究センター教授             |
|     | 知野 恵子  | 読売新聞東京本社編集局企画委員                |
|     | 根本 勝則  | 日本経済団体連合会常務理事                  |
|     | 林 春男   | 国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長           |
|     | 末富 理栄  | 内閣府宇宙戦略室参事官                    |
|     | 山内 智生  | 総務省情報通信国際戦略局宇宙通信政策課長           |
|     | 齋藤 敦   | 外務省総合外交政策局宇宙室長                 |
|     | 堀内 義規  | 文部科学省研究開発局宇宙開発利用課長             |
|     | 恒藤 晃   | 経済産業省製造産業局航空機武器宇宙産業課宇宙産業室長     |
|     | 吉田 正彦  | 国土交通省総合政策局技術政策課長               |
|     | 竹本 明生  | 環境省地球環境局総務課研究調査室長              |
|     | 末永 広   | 防衛省防衛政策局戦略企画課長                 |
|     | 松浦 直人  | 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構新事業促進部長      |

## 5. 受賞事例

第2回宇宙開発利用大賞は平成27年9月に募集を開始し、107件の応募がありました。  
このたび、内閣総理大臣賞、内閣府特命担当大臣(宇宙政策)賞他7賞の受賞者を決定しました。

| 賞名                   | 事例名                                | 受賞者名   |
|----------------------|------------------------------------|--|
| 内閣総理大臣賞              | 全世界デジタル3D地図提供サービス                  | 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ<br>一般財団法人<br>リモート・センシング技術センター                                   |
| 内閣府特命担当大臣<br>(宇宙政策)賞 | 地球観測衛星データを活用した<br>天候インデックス保険の開発    | 損害保険ジャパン日本興亜株式会社<br>損保ジャパン日本興亜<br>リスクマネジメント株式会社                                  |
| 総務大臣賞                | 国産静止衛星プラットフォーム<br>DS2000による商用市場展開  | 三菱電機株式会社   |
| 外務大臣賞                | 国連宇宙空間平和利用委員会<br>本委員会議長としての活動      | 国立研究開発法人<br>宇宙航空研究開発機構<br>堀川 康 氏   |
| 文部科学大臣賞              | 大学生・大学院生による実践的な<br>宇宙開発の環境整備       | UNISON<br>(UNISEC Student Organization)<br>UNISAS<br>(UNISEC Alumni Association) |
| 経済産業大臣賞              | リチウムイオン電池による人工衛星<br>電源の小型・軽量・長寿命化  | 株式会社<br>ジーエス・ユアサ テクノロジー<br>今村 文隆 氏、岩本 達也 氏、<br>瀬川 全澄 氏                           |
| 国土交通大臣賞              | 防災・減災用GNSS計測技術の開発と<br>計測情報サービスの提供  | 国立大学法人山口大学<br>清水 則一 氏<br>shamen-net研究会   |
| 環境大臣賞                | ブラジル国における衛星レーダ技術を使<br>った違法伐採低減への貢献 | 一般財団法人<br>リモート・センシング技術センター<br>小野 誠 氏   |
| 防衛大臣賞                | 選考の結果、「該当なし」となりました                 |  |
| 宇宙航空研究開発機構<br>理事長賞   | 宇宙用高精度角度検出器の開発                     | 多摩川精機株式会社<br>スペースロニックス研究所  |